

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	膀胱癌に対するラミニン 2 単鎖のバイオマーカーとしての有用性に関する臨床研究（橋渡し研究加速ネットワークプログラムのシーズ B で検証に用いた採取済の臨床検体の利用）
	研究目的	ラミニン 2 単鎖を指標とした新たな膀胱がん診断法のさらなるブラッシュアップを計る目的で、AMED 橋渡し研究加速ネットワークプログラムで支援を受けて行った研究で採取した膀胱がん患者尿の残余検体の再利用することで、ラミニン 2 単鎖を指標とした新たな膀胱がん診断法の臨床性能を評価する。
	研究対象者	平成 26～29 年度に AMED・橋渡し研究加速ネットワークプログラムからの支援で行った臨床研究に参加いただき尿検体の提供を受けた膀胱がん患者、および入院で経尿道的膀胱腫瘍切除術を受けた患者 上記臨床研究参加患者から取得した個人情報および試料の利用目的を変更して本研究に利用します
	研究期間	西 暦 2018 年 12 月 28 日 ～ 西 暦 2023 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 （チェック[X]が入った項目を利用します）		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input checked="" type="checkbox"/> 排泄物（尿・便） <input type="checkbox"/> その他（記載して下さい） <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	臨床研究所・がん生物学部 部長 越川直彦
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等  共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	臨床研究所・がん生物学部 泌尿器科  アボットジャパン 総合研究所 所長 吉村 徹